

A) 一般応募原稿の応募要項：

『ハーディ研究』の一般応募原稿を募集いたします。掲載の可否は編集委員の審査により決定されます。論文の掲載に当たっては、お一人 10,000 円の負担をいただき、同誌 5 部が進呈されます。さらに必要な方には、1 部 1,000 円にてお分けしております。

執筆および応募要項は以下の通りです：

- 1) 応募原稿は、ハーディに関する未発表の論文であること。ただし、口頭発表原稿はこの限りではない。
- 2) 英文の場合は、英文タイプ(ワープロ/パソコン)で A4 用紙にて (1 ページ 30 行)、10 枚程度。和文の場合は、ワープロ/パソコン使用で 14,000 字程度に収めること。他に英文レジメ (300 語程度) を必ずつけること。
- 3) 英文の場合は、原則として *The MLA Style Sheet* (北星堂書店発行の邦訳『MLA 英語論文の手引き』) に従うこと。
- 4) 引用の場合は、出典 (Edition・ページ) を明記のこと。
- 5) 原則として完全原稿とし、校正時の大きな修正は認めない。
- 6) 原稿の採否は、編集委員会の決定による。
- 7) 原稿の締め切り：2022 年(令和 4 年) 4 月 1 日。
- 8) 原稿は下記のように、電子メールまたは郵送で提出すること。

- ①[メール提出の場合] 完成原稿のファイルを添付し、電子メールで協会のメール・アドレス jimu.thsjapan@gmail.com に送信する。
執筆者の住所 (連絡先) とメール・アドレスを記したものを必ずつけること (様式自由)。
CD-ROM などによる原稿の電子版データの郵送は不要です。

- ②[郵送の場合] 完成原稿 1 部を、なるべく簡易書留にして、下記の事務局住所へ郵送する。

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 近畿大学 経営学部 高橋路子研究室内
日本ハーディ協会事務局

必ず CD-ROM、USB メモリーなどにより、原稿の電子版データを付けること。なお、「会報原稿」と表書きして下さい。執筆者の住所 (連絡先) とメール・アドレスを記したものを必ずつけること (様式自由)。

- 9) 版下作成に用いる一太郎ファイルへの変換がうまく行きませんので、注をつける場合には、ワードの注機能は使わないで注をつけるようにしてください。
- 10) 応募原稿には、引用した文献を論文の末尾につけて下さい。
- 11) 掲載された論文は今後、電子化され、ネット上で公開されることがあります。

B) 書評について

書評を希望するハーディ関係の研究書、伝記などがおありの会員の方は、一人1冊を限度に、候補本を編集委員会まで推薦して下さい。

①候補本について

- 1) 候補本の推薦締め切り：2022年9月30日(第49号)
- 2) 候補本の内容：ハーディの研究書、伝記など。また、少なくとも一章をハーディにさいている研究書など。
- 3) 候補本の使用言語：英語で書かれたもの、日本語で書かれたもの、どちらでも構いません。
- 4) 候補本の出版年：過去3年以内に出版されたものを原則としますが、5年以内のものでも認める場合があります。
- 5) 候補本は自薦でも他薦でも構いません。
- 6) 推薦本情報の送付先：『ハーディ研究』編集委員長の新妻昭彦氏宛て、できればメールにてお知らせ下さい。

メールを使用されない方は、下記住所まで葉書で結構ですからご連絡下さい。

編集委員長の連絡先：

・アドレス：niitsuma@mx3.ttcn.ne.jp

・住所：個人情報保護のため、協会HP上では掲載を控えます。

②書評および書評者について

- 1) 書評者への依頼：書評をしていただく方は、下記の日程にしたがい、編集委員会のほうで相応しい方に依頼いたします。
- 2) 書評は日本語でも英語でも構いませんが、英語原稿の場合にはネイティブチェックをしていただくことが望ましいです。
- 3) 長さ：日本語：5,000字程度～6,000字程度
英語：1500語程度
- 4) 書評原稿は、電子メール（ファイル添付）にて事務局に提出をお願いします。
- 5) 書評本の購入代金については基本的に自費負担とします。
- 6) 依頼原稿なので投稿料を支払う必要はありません。

③スケジュール

- 1) 候補本の選択は、11月中旬までに編集委員会で行います。
- 2) 書評者の決定および依頼：11月中旬～12月上旬
- 3) 書評原稿（電子メールによる）締め切り：5月31日
- 4) 原稿（添付ファイル）送付先：日本ハーディ協会事務局宛：jimu.thsjapan@gmail.com
- 5) 初校校正（字句の訂正）のみ、書評者にお願いします。
- 6) 原則として、原稿はそのまま受け取り、内容については執筆者に責任を持っていただきます。